TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまは愛です　世に打ち勝つ勝利

ヨハネの手紙第一 5 章 1- 5 節

2026 年 3 月 21 日 & 22 日

余沢　武　牧師

I. 序論

ごあいさつ。

ヨハネの手紙一の学びを通して、私たちは次のことを学んできました。福音を受け入れた後――

自分の罪を告白し続け、神さまの赦しと助けを求め、それを受け取るとき、父と御子との親密な関係にとどまるようになります。これが「永遠のいのち」です。

私たちの内にある神さまの種のゆえに、罪を続けることはなく、むしろ神の言葉に従いたいと強く願うようになります。そしてそれが、私たちが「神さまの子ども」であることを示していると分かるのです。

また、互いに愛し、気にかけ、赦し合うとき、私たちは自分たちが死からいのちへと移ったことを知ります。最終的な目的は、神さまの愛が私たちの内で全うされることです。私たちは神の愛をもって互いに愛し合うようになります。

今日は、これらすべてを可能にしているものが何かを見ていきます。まず祈りましょう。

II. 世に打ち勝つ勝利

(1)神から生まれた者

ヨハネの手紙一 5 章 1 節を見ましょう。

「イエスがキリストであると信じる人は皆、神から生まれた者です。生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた者をも愛します。」

「イエスがキリストである」と信じるとは、次のことを信じるという意味です。

イエスは父とともにおられる永遠の言葉であり、御子であり、すべてを創造されたお方であること。

イエスは神であり、人としてこの世に来られ、私たちの罪のために死に、よみがえりメシアとなり、神によって立てられた王、神の民を救い出すために来られたお方であること。

かつてイエスは弟子たちに、「それでは、あなたがたは私を何者だと言うのか。」と尋ねられました。ペテロは「あなたはメシア、生ける神の子です。」と答えました。イエスはペテロに、それを明らかにしたのは父であると言われました。

同じようにヨハネは、「イエスがメシア、キリストである」と信じるなら――

それが神さまによって示されたことだけでなく、私たちは「神から生まれた者」とされているのです。

そして「父」を愛する者は、「その方から生まれた者」、すなわち神の子どもたちをも愛するようになります。

では質問します。私たちが本当に「神の子どもたち」を愛していることを、どのようにして知ることができるのでしょうか。

2節 「神を愛し、その戒めを守るなら、それによって、私たちが神の子どもたちを愛していることが分かります。」

先週学んだように、ヨハネの手紙一で語られている「愛」とはユニークな愛、「神の愛」であり、それは神の子どもたちにのみ与えられるものです。では、その愛が本当に神から来ている”愛”だと、どうすれば分かるのでしょうか。

世界市場で売られている偽の薬についての記事を読みました。多くの場合、それらはチョークやタルク粉、あるいは重金属で作られていました。これらの偽薬によって、毎年 10 万人から 70 万人が命を落としていると推定されています。亡くなってしまった人々は本物の薬を使っていると思っていましたが、実際はそうではありませんでした。

クリスチャンである私たちにも、同じような危険があります。自分たちは神の愛を示していると思っていても、実際にはそうではないことがあります。それは神のご性質を伴わない、単なる「人間的な善意の行動」にすぎず、神やイエスの名のもとで行われていたとしても、クリスチャンでない人でもできるものなのです。

明らかに人間的な善意の行為は「神の愛」を表すものなく、人々に仕えてそれを世に証しすることは出来ません。

そこでヨハネはこう言います。「神を愛し、その戒めを守るなら、それによって、私たちが神の子どもたちを愛していることが分かります。」 言い換えれば、「神を愛し」「その命令に従っている」ときに、私たちは「神の子どもたちに対して、神の特別な愛を示している」ことが「分かる」のです。

さて実際には、「神を愛すること」と「その命令に従うこと」は、別々のものではありません。

イエスは言われました。**「あなたがたが私を愛しているならば、私の戒めを守るはずである。」ヨハネ 14:15**

神を愛するとは、心から神を信頼し、その命令に従うことです。神の命令に従うかどうかが、本当に神を愛しているかどうかを私たちに示します。アダムとエバも、この点で神に背いたのです。

自然界のすべてのものは神に従っています。
たとえば、ヨナ書を見ると、嵐も海も魚も、ヨナを日差しから覆った植物も、その植物を食べた虫さえも、すべてが神に従っています。ただ一つの例外がありました。それは人間であるヨナです。

しかし、これは今やイエスによって変えられます。私たちの内にある「神の種」によって、主に QT（神様と過ごす聖書と祈りの時）や祈りを通して、神との「親密な関係」にとどまり、罪を告白し、赦しと助けを求めて受け取る中で、私たちは「神の命令」に従いたいと強く願い、実際に従うようになります。

これが「神を愛する」ということです。そして「神を愛し」「その命令に従う」とき、「お互いの見方の変化」「かかわり方の変化」に気付き、「今までと違う愛し方」によって、「私たちが神の子どもたちを愛していることが分かる」のです。

(2)神の命令は重荷ではない
3 節-4 節
「神の戒めを守ること、これが神を愛することだからです。その戒めは難しいものではありません。
神から生まれた人は皆、世に勝つからです。世に勝つ勝利、それは私たちの信仰です。」

ここで彼は、「その戒めは難しいものではありません」と言っています。つまり、それは「重苦しいもの」でも「押しつけがましいもの」でもないという意味です。

神の命令は簡単なものではありません。しかし、「神から生まれた人」、すなわち「神の種」を内に持ち、神との親密な関係にとどまっている者にとっては違います。それは重荷ではないのです。「神から生まれた人は皆、世に勝つ」からです。

言い換えると、この世には、私たちが神を愛し、その命令に従うことを妨げてきたものがあります。
ヨハネはこの手紙の中ですでに語っています。

ヨハネの手紙一 2 章 15 節から 17 節
「 世も世にあるものも、愛してはなりません。世を愛する人がいれば、御父の愛はその人の内にありません。
すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、見栄を張った生活は、御父から出たものではなく、世から出たものだからです。 世も、世の欲も、過ぎ去ります。しかし、神の御心を行う者は、永遠にとどまります。」

サタンが私たちを「神を愛し」「その命令に従うこと」から遠ざけるために用いる三つの事柄があります。

「肉の欲」：不道徳な性的行為、酔い、怒りの爆発など、神に反するかたちで自分の欲求を満たすことによって幸せを得ようとする衝動。

「目の欲」：服や電子機器、車やお金など、目に見えるものによって幸せを得ようとする衝動。

「持ち物の誇り」：人からの尊敬や称賛、地位によって幸せを得ようとする衝動。

これらこそが、サタンが私たちを「神を愛すること」、そしてその「命令に従うこと」から遠ざけるために用いるものです。

ある人は、「不道徳な行い」に関する神の命令を重苦しいものだと感じます。

またある人は、「神に信頼し、満ち足りること」に関する命令を重荷だと感じます。

さらにある人は、「互いに仕え合い、他の人を自分よりすぐれた者とみなすこと」という命令を自尊心を傷つけられたと感じます。

しかし、「神から生まれた人は皆、世に勝つからです。世に勝つ勝利、それは私たちの信仰です。」私たちは、信仰によってこの「世」に今打ち勝つことができます。

チャック・スウィンドル牧師が、アポロ 16 号のミッション後にチャールズ・デューク大将にこのような質問をしたことがあります。彼は、そのミッションで月面を歩いた宇宙飛行士の一人でした。牧師は「もう少し長く月を歩きたいと思いましたか？」と尋ねました。彼は微笑んでこう答えました。「ええ、地球に戻りたくないならね。」

彼は、そのミッションが NASA への「完全な従順」を必要としていたことを説明しました。月に着陸したとき、燃料は、わずかに 60 秒分が残っているだけでし

た。そのすべてが貴重なものでした。彼らは NASA を信頼する必要がありました。なぜなら、どのようにすれば生きて帰還できるかを知っているのは自分たちではなく NASA だったからです。

「神から生まれた者」は、どのように生きるべきかを知っているのは自分ではなく、神であることを知っています。また、十字架を通して神がどれほど自分たちを愛しておられるかを知っています。だからこそ、神を愛し、信頼し、その命令に従いたいと願うのです。そして彼らにとって、「神の命令は重荷ではない」のです。

5 節「世に勝つ者とは誰か。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。」

この「世」に打ち勝つことができる者――すなわち、肉の欲、目の欲、持ち物の誇りに打ち勝つ者とは、「イエスが神の子」と信じる者です。

アポロ 16 号の乗組員たちは NASA を信じることで困難に打ち勝ちました。同じように私たちは、「イエスが神の子」と信じることによって世に打ち勝ちます。

イエスは「永遠の神の子」であり、「神であるお方」です。この方こそが、真の満足、完全な備え、そして最も尊い身分、神さまの子どもを与えてくださるのです。

私たちは今日、神との親密な関係にとどまり、QT（神様と過ごす聖書のことばと祈りの時）や祈りの中で、神は私たちにこう語られます。

互いにあいさつし合い、励まし合い、祈り合いなさい。

互いに仕え合い、忍び合い、赦し合いなさい。

夫に従いなさい。妻を愛しなさい。

親に従いなさい。親たちよ、子どもを怒らせてはなりません。

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。マタイ 6:33

しかし、「この世の欲」はそれに抵抗します。それでも、私たちは自分の罪のために死なれた「神の子イエス」を信頼するので、罪を心から告白します。そして、神の助けによって神に信頼し、愛し、進んで戒めに従えるようになります。 その時、自分が世に勝ったことに気付くかもしれません。

ある年配の女性が、困っている人がいると知り、ある日お金の入った分厚い封筒をそっと私に渡し、その人に届けてほしいと言いました。彼女は裕福ではありませんでしたが神の愛をその人に示していました。

ある兄弟が私のところに来て、私を誤解していたと話し、赦しを求めました。その方に私はイエスの謙遜さと神の愛を見ました。

また、いつも他の人のために祈り、不平を言わず、いつも御言葉によって人を励ます備えができている兄弟がいました。その方は常に神の内なる臨在と愛を人々に示していました。

これらの兄弟姉妹は、神との親しい関係を持っていました。彼らはたゆまず神様と会話をして、神を愛し、戒めにしたがっています。神の子どもたちを愛していました。

ヨハネは言います。これこそが「世に打ち勝つ勝利」なのです。

もしこの勝利をまだ得ていないなら、それを得ることを勧めます。今日、「神の子イエス」に信頼を置いてください。罪の赦しと自分が変えられることをイエスに求めてください。そうすれば、あなたも神さまから生まれ、世に打ち勝ち、神さまを愛し、その命令に従い、「神の愛」をもって人々を愛することができるようになります。今日、それをしてくださいますように。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/s1226jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 301
賜物発見クラス
4 月 12(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した TBC メンバーの方

★クラス 210
スモールグループについて知ろう！
4 月 19(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 17(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み: https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org